



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

アルジェリア：大統領選挙の最終候補者は6人 ほか

1. 大統領選挙の最終候補者は6人

3月13日、憲法評議会は、大統領選挙への立候補申請を行った12名の審査を終了し、6名の立候補を認めた。

【大統領選挙候補者】

- (1) アブドゥルアズィーズ・ブーテフリカ（民族解放戦線（FLN）、現職大統領）
- (2) アリー・ベンフリース（無所属、元首相、2004年大統領選立候補）
- (3) ルイーザ・ハヌーン（労働党党首、2004・2009年大統領選立候補）
- (4) アブドゥルアズィーズ・ベルイード（未来戦線党党首）
- (5) アリー・ファウズィー・ラバーイーン（54時代党党首、2004・2009年大統領選立候補）
- (6) ムーサー・トワーティー（アルジェリア国民戦線党党首、2004・2009年大統領選立候補）

2. ユースフィー・エネルギー相を暫定首相に任命

同日、サラール首相は、ブーテフリカ大統領の大統領選挙運動に専念するため、辞表を提出した。現エネルギー相のユースフ・ユースフィーが暫定首相に任命された。選挙期間中の措置とみられる。

また、アフマド・ウーヤヒヤ（元首相、民主国民連合（RND）前党首）が大統領府長官国務大臣に、アブドゥルアズィーズ・ベルハーディム（元首相、前FLN党首）が大統領特別顧問国務大臣に任命された。

これら3名の異動は、ブーテフリカ4選目を狙った地場固めとみられる。

（金谷研究員）